

社会資本整備総合交付金

(都市再生整備計画事業)

事後評価シート

大手前通り周辺地区

平成24年12月

島根県松江市

評価結果のまとめ

都道府県名	島根県	市町村名	松江市	地区名	大手前通り周辺地区		面積	41.8ha
交付期間	平成20年度～平成24年度	事後評価実施時期	平成24年度	交付対象事業費	472百万円	国費率	44.4%	
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	事業名						
		基幹事業	道路 (市)母衣町大橋川線、(市)米子町大橋川線、(市)殿町中央線、(市)米子殿町線、(市)北殿町1号線、(市)北殿町2号線 地域生活基盤施設 みちの縁側 母衣町、観光案内板 高質空間形成施設 (市)北田大手前線(惣門橋通り)、(市)北殿町1号線、(市)北殿町2号線					
	提案事業	事業活用調査 惣門橋通り歩行環境向上調査 まちづくり活動推進事業 大手前地区まちづくり推進事業						
	当初計画から削除した事業	事業名						
		基幹事業	道路 (市)殿町中央線 地域生活基盤施設 観光案内板		削除/追加の理由 道路 ・(市)殿町中央線:舗装の老朽化が著しく、早急な修繕工事が必要となるため、単独費で実施することとし、本事業での整備を中止する。 地域生活基盤施設 ・観光案内板:松江歴史館整備に併せ、新たに単独で観光案内板設置事業を実施することとし、本事業での整備を中止する。		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 影響なし	
	提案事業	なし						
新たに追加した事業	事業名							
	基幹事業	高質空間形成施設 (市)母衣町大橋川線、(市)米子殿町線、通り名標柱、照明施設		高質空間形成施設 ・(市)母衣町大橋川線:地元自治会等との協議により、景観を考慮してアスファルト舗装を取りやめ、薄層カラー舗装で整備することとなったため追加する。 ・(市)米子殿町線:地元自治会等との協議により、景観を考慮してアスファルト舗装を取りやめ、薄層カラー舗装で整備することとなったため追加する。 ・通り名標柱:地元自治会より、通りのシンボルとなる通り名標柱の設置について要望が出されたことにより追加する。 ・照明施設:地元自治会より、安全・安心なまちづくりを進めることを目的とした、道路照明整備について要望が出されたことにより追加する。		影響なし		
提案事業	地域創造支援事業 ホーランエンヤ記念館整備		地域創造支援事業 ・ホーランエンヤ記念館整備:関連事業の松江歴史館と併せてホーランエンヤ記念館の整備を行い、新たな賑わいを創出する。		影響なし			
交付期間の変更	当初変更	平成20年度～平成24年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響					
		なし	-					

	指標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
	指標1	指標2		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標1	地区中心部の来街者数	人	2,127	H19	2,340	H24		2,169		あり	南殿町再開発ビル(南殿町地区第1種市街地開発事業)、松江赤十字病院改築事業(暮らし・賑わい再生事業)、松江歴史館(歴史資料館整備事業)、松江ホーランエンヤ伝承館(ホーランエンヤ記念館整備)の整備効果により、中心市街地の魅力が向上したものの、期待していた来街者数10%増を達成することができなかった。	H25.11
										なし			
	指標2	歩行環境満足度	%	6	H19	30	H24		59		あり	地区東部の住宅地区の市道において、歩道のフラット化、照明施設の整備を行ったことにより、歩行環境が改善されたことが評価され、満足度が向上した。	
										なし			
指標3	惣門橋通りの歩行者数	人	1,151	H19	1,381	H24		1,716		あり	松江歴史館(歴史資料館整備事業)の整備と市道の美装化を行ったことにより、歴史的資源の魅力が向上し、観光客の歩行者数が向上した。		
									なし				
指標4	地区内主要道路のバリアフリー整備率	%	46	H19	60	H24		49		あり	市道の歩道のフラット化により、僅かに整備率は向上したものの、幹線道路となる(都)城山北公園線の整備が竣工しなかったためバリアフリー整備率60%を達成することができなかった。	H28.3	
									なし				
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数 値		目標達成度	1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	該当なし											
4) 定性的な効果発現状況	本事業を実施するにあたり、既存組織である「まちづくりを考える会(大手前通りみちづくり協議会)」が中心となり、行政との窓口を担い、事業推進に大きな協力をいただいた。歩道の整備により、歩行環境の改善が図られるとともに、街の景観の向上に寄与した。												
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	事業期間中間年度には、モニタリングを実施し、事業の進捗状況や効果の発現状況、数値指標の達成状況を確認し、関連事業である城山北公園線の事業進捗も勘案しながら必要な対応を行う。			都市再生整備計画に記載し、実施できた				都市再生整備計画の大きな変更も無く、計画通り事業が進んだので、モニタリングは実施しなかった。				
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
住民参加プロセス	庁内においては、各事業および計画取りまとめ担当課で、事業間連携、工程管理を目的とした連絡調整会議を組織する。また、地域内においては、「まちづくりを考える会」が、行政との窓口役を担い、地区住民との意見調整を行っていく。			都市再生整備計画に記載し、実施できた				平成25年度以降も第2期都市再生整備計画を策定するから、引き続き、まちづくりを考える会が中心となり、行政との窓口を担う。					
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
持続的なまちづくり体制の構築	大手前通り沿道の各町内には、H15年に設置された「まちづくりを考える会」があり、本計画による事業完了後においても、この会が中心となり、各町内のまちづくり及び大手前通り沿道全体を通しての賑わい創出を目指して活動していく。また、本計画で整備する施設のうち、ポケットパークについては、地区住民との協働により維持管理を行う。			都市再生整備計画に記載し、実施できた				今後も「まちづくりを考える会」が中心となり、各町内のまちづくり及び大手前通り沿道全体を通しての賑わい創出を図り、地区住民により道路愛護団を設立して、ポケットパークの維持管理を行う。					
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

地区の概要

大手前通り周辺地区(島根県松江市)社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)の概要

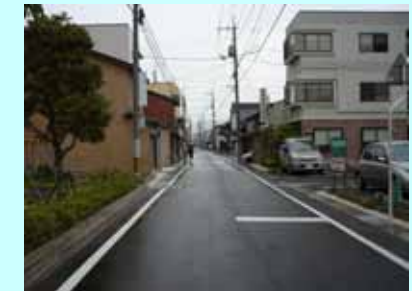
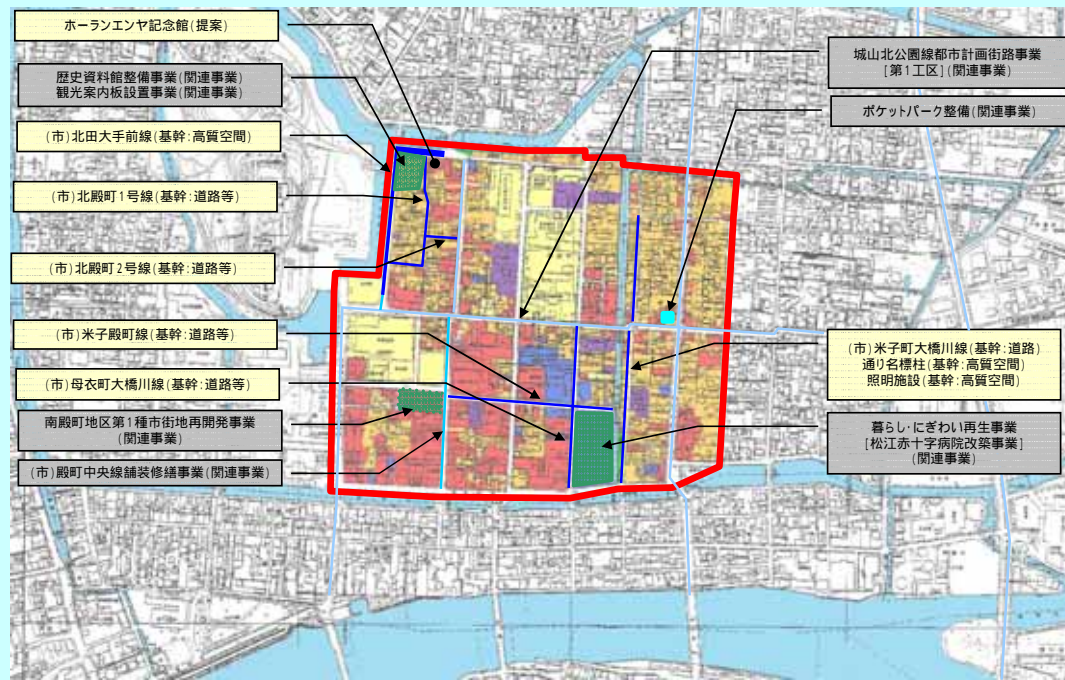
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標 暮らす人が安心して暮らし続けられ、訪れる人が快適に往来できるまちづくり	地区中心部の来街者数	単位:人	2,127	H19	2,340	H24	2,169	H24
目標1 地区中心部における賑わいの創出	歩行環境満足度	単位:%	6	H19	30	H24	59	H24
目標2 歩いて暮らすための歩行環境の改善と地域コミュニティの活性化	惣門橋通りの歩行者数	単位:人	1,151	H19	1,381	H24	1,716	H24
目標3 観光客の歩行安全性・快適性の確保	地区内主要道路のバリアフリー整備率	単位:%	46	H19	60	H24	49	H24
目標4 総合病院の通院・来訪者の歩行安全性・快適性の確保								



(市)北田大手前線



通り名標柱



(市)米子町大橋川線



(市)米子殿町線

まちの課題の変化	歩道や道路の整備、照明灯・通り名標柱の設置により、住民から強い要望のあった安全・快適、かつ、景観に配慮した環境を形成した。さらに、安全性、快適性を高めるためには、本計画による整備場所以外の道路、歩道の整備が考えられる。 松江歴史館、松江ホーランエンヤ伝承館の整備により、城下町松江の歴史や伝統行事に対する関心が高まり、当地区を訪れる観光客が増加した。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	計画の継続を行い、東側に隣接する南田町を新たに計画区域内に取り込み、舟つきの松跡地の活用した公園や道路、歩道を整備することで、さらなる集客・回遊性向上を図り、中心市街地の活性化を推進する。